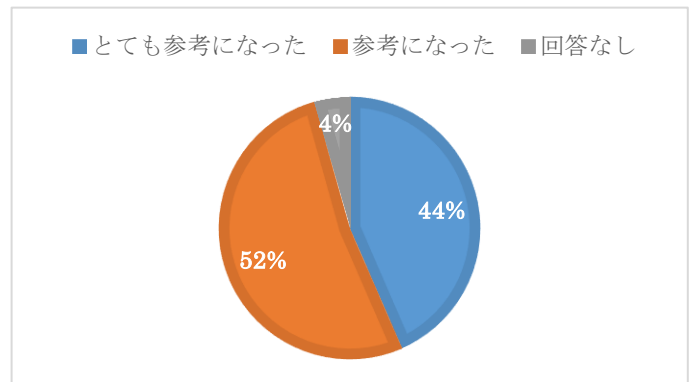


JaCMS 第1回シンポジウム アンケート集計結果

① 基調講演の内容はいかがでしたか？

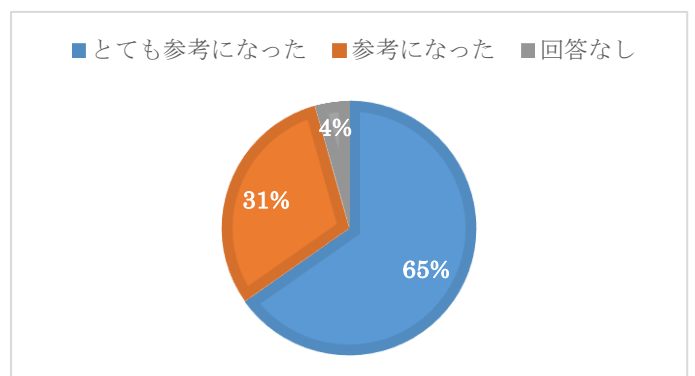
とても参考になった	10
参考になった	12
あまり参考にならなかった	0
ほとんど参考にならなかった	0
回答なし	1
	計
	23



- 理由
- ・“がん哲学外来”に興味を持てた。
 - ・メディカルタウン、メディカルヴィレッジ構想の違いが解りやすく良かった。
 - ・様々な協働について幅広くお話があり興味深かった。

② 特別講演の内容はいかがでしたか？

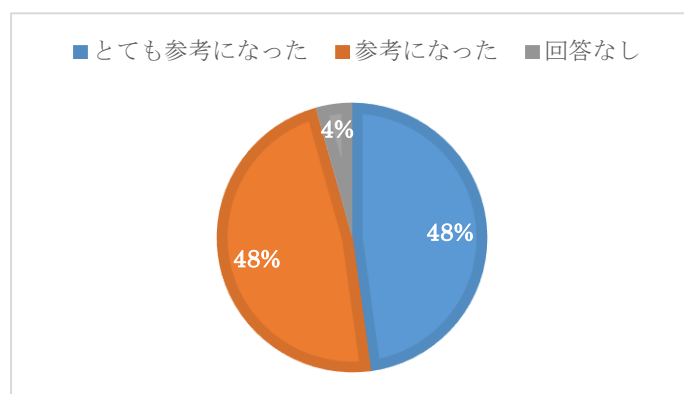
とても参考になった	15
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
ほとんど参考にならなかった	0
回答なし	1
	計
	23



- 理由
- ・地域医療構想の理解が深まった。
 - ・今後の医療業界の動きや地域性について学べた。
 - ・今後の見通しについて具体的に聞ける良い機会になった。
 - ・地域医療構想について話を聞いたので勉強になった。
 - ・連携していく必要性和各セクションでの問題点の違い
 - ・非常にわかりやすく、データに基づいたご説明で勉強になった。
 - ・一人暮らしの高齢者が生活していくための地域医療計画があること

③インタラクティブレクチャー内容はいかがでしたか？

とても参考になった	11
参考になった	11
あまり参考にならなかった	0
ほとんど参考にならなかった	0
回答なし	1
	計
	23



- 理由
- ・各ポジションの味方、視点について理解が深まった。
 - ・医療連携システムにいて、より必要性を考えさせられた。
 - ・地域の取り組みが見えた。
 - ・各職種の抱える問題が分かり、共有ができた点は今後生きると思った。
 - ・まとめとして理解がしやすく参考になった。
 - ・退院支援スクリーニング。

④特に興味深かった、または面白かった点は何ですか？

- ・木下先生の講演
- ・内田先生の講演(在宅での看取り、往診医の不足)
- ・安倍先生の講演(病院との連携)
- ・樋野先生の講演(がん哲学がとても興味深かった)
- ・連携していく必要性和各セクションでの問題点の違い
- ・これからの我が国の地域医療について
- ・ディスカッションが面白かった
- ・立場は違っても、課題感は近いと感じた。こうした連携機会、旗振り後が必要なのかと思った
- ・医療現場は忙しい
- ・暇になって哲学を考える
- ・地域医療の方向性が見え、連携が取れた
- ・入院前カンファレンス
- ・往診医が入れない現状と理由(医療従事者ではないため新鮮なお話だった)

⑤今後取り上げてほしい内容について

- ・薬局、薬剤師のかかわりについて
- ・ケアマネさんからの話
- ・キーパーソン不在のおひとり様の在宅看取りについて
- ・地域包括ケアについて
- ・認知症に対する支援体制
- ・管理者だけでなく、一般従事者からみた地域連携に係るうえでの話、本音
- ・地域医療連携と地域包括ケアと施設の役割など
- ・medical town、medical village の各地での具体的な取り組み状況、今後の課題や道筋など
- ・哲学と実践
- ・患者と家族などの意識の高め方、全体像の把握と各機関の役割分担を知る

⑥その他お気づきのこと

- ・電子カルテは医療者同士にはすべて開示していただきたい。さらに患者にもすべて開示していただきたい。患者も馬の下からでなく、同じ目線に立つために。
- ・様々な立場から取り組んでいることが分かり、市民も学ばなければならないと切に思った。
- ・文京区でも地域医療連携がまだまだ進んでいないのにちょっと驚きました。